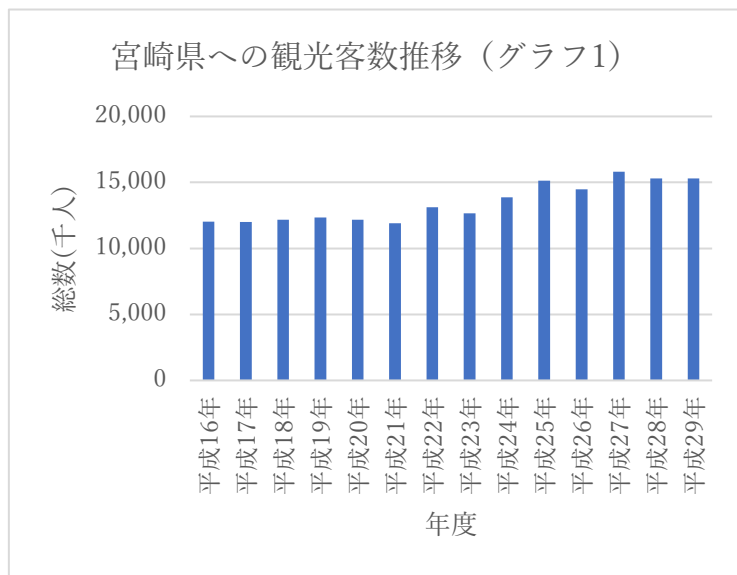


宮崎県の発展を優れている点と劣っている点で見る

学籍番号:67200212 名前:櫛間龍也

1. 優れている点

宮崎県が他地方よりも優れている点は自然を活かした観光産業である。宮崎県はみやぎ観光情報旬ナビホームページで『自然、絶景、体験、イベントなど南国情緒あふれる宮崎』と紹介され宮崎県の公式ホームページでは観光情報という項目が単体でまとめられている通り、観光という産業で多くの旅行客を取り込んでいる。また、平成16年度の県内と県外の観光客総数は12,028千人だったが平成29年では15,295千人¹に伸びており、全国的に宮崎県の観光地が知られていることが増加数により分かる（グラフ1参照）。



この優れている点をさらに伸ばすには外国人観光客数も増加していることを考慮して各観光地における従業員の接客の質を上げることが重要だ。各国（特に英語圏や中国語圏）の文化や慣習、言語を理解し研修等を積むことで外国人観光客に対しても臆することなく接客ができ買い上げ促進を図ることができる。都市部の観光地では英語圏や中国語圏からの観光客への対応としてソフト系施策を行っている²ので、地方観光地でもこのような対応を行うことで観光客総数をさらに上昇させられる。

2. 劣っている点

宮崎県が他地方より劣っている点は交通網の弱さである。道路舗装率が22.8%であること（全国平均は27.3%）³や県央地区以外での鉄道又は路線バスの分布が

¹ みやぎ統計 BOX データカタログ・・・観光客総数の推移

<https://data.stat.pref.miyazaki.lg.jp/dataset/nenkan-39>

² 外国人観光客案内所などの整備・・・都市部における外国人観光客への対応

<https://www.mlit.go.jp/common/001183002.pdf>

³ 総務省統計局・・・道路舗装率

https://www.stat.go.jp/naruhodo/c1data/09_05_stt.html

目視的にも少ないこと⁴⁵から各観光地までの移動手段が潤っているとは言えない。全域的に交通網を発展させ各観光地への移動を今まで以上に容易にし、観光客数を増加させるためには、道路の舗装を進め電車又は路線バスの本数を増やすことが必要だ。道路舗装率の上昇については、宮崎県全体の道路整備状況を見ると、宮崎市内特に中心部は整備状況が進んでおり走りやすさの良好な道路が多くある。一方で宮崎市以外では道路の少なさが目立つ。国の指定する天然のヒノキや杉が生息する椎葉村や日本最南端のスキー場で有名な五ヶ瀬ハイランドスキー場のある五ヶ瀬町等、有名な観光地やレジャー施設のある地域でも道路が通っていなかったり道路の走りやすさが不良だったりする。また、同じ九州内で観光客総数の多い福岡県⁶（平成30年度の県内と県外の観光客総数 88,852 千人）の道路舗装率状況を見ると、宮崎県のように人口の集中している中心部のみ道路整備状況が良好なのではなく県全体で道路整備状況が良好である。観光客総数が多い県との比較からも分かるように、道路整備状況が良好だと観光客総数は増えることが分かる。つまり、宮崎県全体の道路舗装率を上げることで各観光地への移動が容易になり観光客総数の増加、特に自家用車を持つ家族連れや地方に帰省をした人たちの増加を見込める。電車又は路線バスの本数の増加については、電車の本数状況も宮崎駅については県内で一番本数が多く下り方面上り方面共に充実している。しかし、宮崎県全体の電車時刻表を見ると宮崎市内特に中心部以外の駅にそもそも電車が通ることが少ないことが分かるので、結果県西や県北、県南の観光地に赴く際に電車を利用して移動すると限られた少ない時間にしないといけないことになる。なおかつ県西から県北にかけては大部分で鉄道が敷かれていないので自家用車を持たない人たちは路線バスを利用することになる。その路線バスの本数状況も電車と同じく、宮崎市特に中心部で本数が多く他地域で少ない（注釈4参照）。本数の少ない場所で



注釈 5: JR 九州路線図より宮崎県の路線図

⁴ 宮崎交通・・・**県央地区以外の鉄道分布**

<https://www.miyakoh.co.jp/rosen/rosenmap.html>

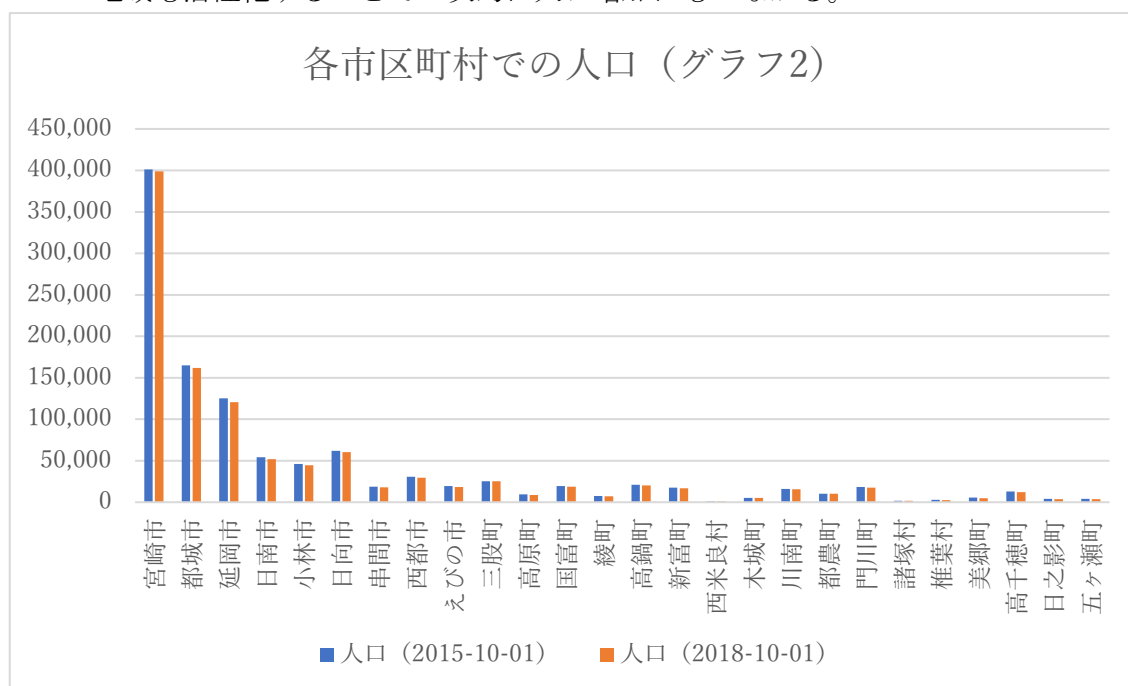
⁵ JR 九州路線図・・・**県央地区以外の鉄道分布**

<https://www.jrkyushu.co.jp/railway/routemap/>

⁶ 平成30年度福岡県観光入込客推移計調査・・・**宮崎県との観光客総数の比較**

https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/524910_60250523_misc.pdf

は一日に1本しか路線バスが通らない地域⁷もあり、移動手段が限られるため観光客が集まりにくくなる。道路舗装率を上昇させるのと同じく、電車と路線バスの本数も増加させることで観光客総数の増加、特に自家用車を持たない人たちの増加を見込める。以上の2点が実現すれば今まで足を運ばなかった人たちが来やすくなり観光客総数の増加につながる。また、宮崎県のホームページやテレビCM等で行うPRもだが、移動が容易になったことで若年層も多数来るためSNS上での情報拡散力が上がりPR効果につながる。現状だと三股町以外では前国勢調査以来人口が減少している⁸（グラフ2参照）が、宮崎市のような中心部だけでなくその他の地域も活性化することで二次的に人口増加にもつながる。



3. おわりに

以上の観点より宮崎は観光産業が優秀だが交通の便が悪いことが分かる。観光産業においてはみやざき統計BOX ホームページによると『快晴日数全国1位』と記載があるし海や山に囲まれた自然豊かな場所なので観光するにはかなり適している。交通の便においては道路舗装率の上昇や電車又は路線バスの本数の増加が実現すれば観光客総数が上昇し県民の移動の足ともなるので地域が活性化することにつながり、結果宮崎県が活気づき我々の生活の質も上がる。一県民として宮崎の問題を無視せず解決策を考慮することが我々にできることではないだろうか。

⁷ 椎葉村バス時刻表・路線図・・・**路線バス運行本数の少ない地域**

<https://www.vill.shiiba.miyazaki.jp/promote/bus.php>

⁸ 宮崎県（日本）：県&市町村-人口統計、チャート、地図・・・**市区町村別人口推移**

https://www.citypopulation.de/php/japan-miyazaki_j.php